

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福岡港1丁目SC計画	階数	地上4F
建設地	福岡県福岡市中央区港1丁目10番	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,500 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年11月9日
敷地面積	3,471 m ²	作成者	森田 俊和
建築面積	3,124 m ²	確認日	2018年11月9日
延床面積	11,530 m ²	確認者	森田 俊和



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.5

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	物販店舗としての店舗空間の快適性や利便性を配慮しつつ省エネ効果を考慮した計画とした。	その他 0
Q1 室内環境	室内環境の快適性を考慮した空調設備計画と照明設備計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 0
LR1 エネルギー	省エネ性能の高い機器を選定することで、建物の省エネ性能を高める計画とした。	LR3 敷地外環境 建物の省エネ性能を高め、ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑えた計画とし、管理用車両の駐車スペースと導線の確保することで周辺環境への配慮をした計画とした。
Q2 サービス性能	階高をH=3.9m以上とし、室内の快適性と室内環境の向上を図りつつ、壁長さ比率を小さく抑え、空間の自由度を高めた計画とした。	
LR2 資源・マテリアル	節水型機器の便器の採用と、汚染物質含有材料を使用しない計画とした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される